

414
A2529



明治九年一月廿五日

正院、御上申案

明治七年九月司法省第廿四号ヲ以テ人々ヨリ院省使所對テ訴訟取扱規則
布達セシ以テ未ダ省ヲ始テ他ノ省使或ハ府縣廳對テ及訴訟ノ事件以テ踵ヲ接シ
就中多有被害ノ件々多クハ此等諸侯ノ處分ヨリ生ズルモノ或ハ戊辰兵馬ノ際後
軍ノ諸隊ニ於テ濫借セシ金數類々皆少ノ年月ヲ経過セシ往昔ノ措置ニ
係リシモノ有之其一ニテ奉テ言ハ越後國蒲原郡三孝西通廣川兵外六人ヨリハ越
後軍ノ諸隊ニ用立レテ米穀ノ如キ其事實ノナキハ非サレバ自願ノ如キニ至テハ
曰水原縣會計局捺印ノ証書ニ據ト云モ此証書ヲ下付セシ毎降手續ヲ
行フニハ人民亦所持ノ原証官軍ハ若狭方
ヨリ出シ証書ト交付セシモノニテ其原証ノ確實
ナルヤ否ヲ推究セズ忽且ニ交付セシ量況ニ相見交ニ精確ナル事跡ヲ得ス

北村恭一



大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

新ノ原由曖昧ニ屬スルモノト云一旦水原縣ヨリ交付セシ證書ハ法律ニ於テ明
確ナルモノトシ勢ヒ之ニ對シテ償還セサルヲ待テ終ニ數千金ノ辨償ヲ為セシト
有之其他高知縣下ノ高安岡万壽ヨリ公債証書下ケ渡不服ノ訴<sup>此件ハ昨年月
審判済</sup>
或ハ即今福岡縣下ノ人民數名ヨリ公債償還不足ノ訴亦ノ如何レモ旧藩吏
不注意ヨリ生シ或ハ指令工組路ノ庶オヲ押、所認ノ事柄トシ及出訴ケモノ
ニ抑惟新草創ノ際ニ至ラハ成規未タ成ラス定例未タ整ハス隨テ臨機處
宜ノ處令ニ涉ルモノ亦鮮少ナラストモ今ヤ庶債債ニ就キ万法方、整齊ニ
至ル實ニ昔日ト同視スヘカラス殊ニ正院ノ裁可ヲ徑テ特別處令ヲ為セシ
至ル迄時勢ノ變遷ト其實況トヲ不同普通民事ノ法律ニテ以テ之カ曲直ヲ
為スハ實ニ其當ヲ得ケルノミナラス却テ行政上ノ妨害ヲナスコトアラントス亦即ニ
開政米各國ノ如キ民權擴張ノ國ト云人民ヨリ政府ニ對シテ訴訟ノ形
多ナル未タ吾國ノ如クナラスト彼令官廳ノ處令古制ノ慣例ニ泥シ壓抑ノ
所置タルヲ免レサルコトアルモ政府ノ損害トナルヘキコトハ厚ク保護シテ之ヲ防ク

ノ道ヲ設ケサルヘカラス 曩昔英國人民ヨリ昔政府ニ對シテ訴訟ノ起リシ時代理人
任用セシ米國人ヒール^{可法省法律顧問}ノ論辯書中ニ英米兩國ニテ法鑑トモ稱スル
書中ノ條款ヲ引用セシコトアリ 其文ニ曰「政府ハ代理人ノ詐偽失錯輕者不注意
ヨリ生スル 損耗傷害ニ對シテ政府ヲ保護スルハ欠ク可カラサルノ一事ナリ」ト掲載
セリ是ハ民事ノ裁判上於テハ引用酌量ナシ難キコト可有之仍テ人民ヨリ
政府ニ對スル 訴訟及ヒ政府ヨリ人民ニ對スル及對要求ヲ審判スル 為ノ
一ノ裁判所ヲ御同設ル或ハ方便至要ノ良法ト存莫尤裁判廳
設立ノ起由原質ハ未タ詳ナラスハ清共去ル七年司法省第百二十四号布達
ノ趣ニハ人民一個ノ事ニテラサル一般公同ノ為ニ起ル訴訟ハ行政裁判ニ
歸スルモノト有之ハ同人民一個ノ為ニ起ル訴訟ヲ受理スル裁判廳ハ
請求裁判所ト被稱ル方可然已ニ外務及工部
米人スミス英人デロソン、尋問ノ上一裁判設立ノ方
ノ通リ取調差出ル得共其方法中 適用トシ難キ條件モ相見、ハ有猶

新ノ原由曖昧ニ屬スルモノト云一旦水原縣ヨリ交付セシ證書ハ法律ニ於テ明
確ナルモノトシ勢カ之ニ對シテ償還セサルヲ待テ終ニ數千金ノ辨償ヲ為セシ
有之其他高知縣下ノ高安岡万壽ヨリ公債証書下ケ渡不服ノ訴此件ハ昨年月
審判済
或ハ即今福岡縣下ノ人民數名ヨリ公債償還不足ノ訴亦ノ如ク何レモ旧藩吏
不注意ヨリ生シ或ハ指令上組路ノ庶オヲ押、訴訟ノ事柄トシ及出訴ケモノ
ニテ抑惟新草創ノ際ニ至テハ成規未タ成ラス定例未タ整ハス隨テ臨機處
宜ノ處令ニ涉ルモノ亦鮮少ナラストモ今ヤ庶債債ニ就キ万法方、整、齊、
至ル實ニ昔日ト同視スヘカラス殊ニ正院ノ裁可ヲ任テ特別處令ヲ為セシ
為スハ實ニ其當ヲ得ケルノミナラス却テ行政上ノ妨害ヲナスコトアラントス
聞政米各國ノ如キ民權擴張ノ國ト云人民ヨリ政府ニ對シテ訴訟ノ夥
多ナル未タ吾國ノ如クナラスト假令官廳ノ處令古制ノ慣例ニ泥シ壓抑ノ
必置タルヲ免レサルコトアルモ政府ノ損害トナルヘキコトハ厚ク保護シテ之ヲ防ク

ノ道ヲ設ケサルヘカラス 曩昔英國人民ヨリ昔政府ニ對シテ訴訟ノ起リシ時代理人
任用セシ米國人ヒトル可法省法律
顧問ノ論辯書中ニ英米兩國ニテ法鑑トモ稱スル
書中ノ條款ヲ引用セシコトアリ 其文ニ曰「政府ハ代理人ノ詐偽失錯輕率不注意
ヨリ生スル 損耗傷害ニ對シテ政府ヲ保護スルハ欠ク可カラサルノ一事ナリ」ト掲載
セリ是ハ民事ノ裁判上於テハ引用酌量ナシ難キコト可有之仍テ人民ヨリ
政府ニ對スル 訴訟及ヒ政府ヨリ人民ニ對スル及對要求ヲ審判スル 為ノ
一ノ裁判所ヲ御用設け或ハ方至便至要ノ良法ト存莫尤裁判廳
設立ノ起由原質ハ未タ詳ナラスハ清共去ル七年司法省第三十四号布達
ノ趣ニハ人民一個ノ事ニテラサル一般公同ノ為ニ起ル訴訟ハ行政裁判ニ
歸スルモノト有之ハ同人民一個ノ為ニ起ル訴訟ヲ受理スル裁判廳ハ
請求裁判所ト被稱シ方可能已ニ外務及工部省亦、御雇ノ法學師
米人スミス英人デヒソン、尋問ノ上一裁判設立ノ方法立案セシメハ此列冊
ノ通リ取調差出ハ得共其方法中 適用トシ難キ條件モ相見、ハ有猶

本支米人
御雇ノモ

新ノ原由曖昧ニ屬スルモノト云一且水原縣ヨリ交付セシ證書ハ法律ニ於テ明
確ナルモノトシ勢ヒ之ニ對シテ償還セサルヲ待テ終ニ數千金ノ辨償ヲ為セシト
有之其他高知縣下ノ高安岡万壽ヨリ公債證書下ケ渡不服ノ訴 此件ハ昨年月
審判済
或ハ即今福岡縣下ノ人民數名ヨリ公債償還不足ノ訴亦ノ如何レモ旧藩吏
不注意ヨリ生シ或ハ指令工組路ノ塵ホヲ押、訴訟ノ事柄トシ及出訴ハモ
ニ抑推新草創ノ際ニ至テハ成規未タ成ラス定例未タ整ハス隨テ臨機處
宜ノ處令ニ涉ルモノ亦鮮少ナラストモ今ヤ庶債債：孰キ不法方、整齊
至ル實ニ昔日ト同視スヘカラス殊ニ正院ノ裁可ヲ經テ特別處分ヲ為セシ
至ル迄時勢ノ變遷ト其實況トヲ不同普通民事ノ法律ニテ以テ之カ曲直ヲ
為スハ實ニ其當ヲ得ケルノミナラス却テ行政上ノ妨害ヲナスコトアラントス
聞政米各同ノ如キ民權擴張ノ國ト云人民ヨリ政府ニ對シテ訴訟ノ夥
多ナル未タ吾國ノ如クナラスト彼令官廳ノ處令古制ノ慣例ニ泥シ壓抑ノ
必置タルヲ免レサルコトアルモ政府ノ損害トナルヘキコトハ厚ク保護シテ之ヲ防ク

ノ道ヲ設ケサルヘカラス 曩昔英國人民ヨリ吾政府ニ對シテ訴訟ノ起リシ時代言人
任用セシ米國人 司法省法律
顧問 論辯書中ニ英米兩國ニテ法鑑トモ稱スル
書中ノ條款ヲ引用セシコトアリ 其文ニ曰「政府ノ代理人ノ詐偽失錯輕者不注意
ヨリ生スル損耗傷害ニ對シテ政府ヲ保護スルハ欠ク可カラサルノ事ナリ」ト掲載
セリ是ハ民事ノ裁判上於テハ引用酌量ナシ難キコト可有之仍テ人民ヨリ
政府ニ對シテ訴訟及ヒ政府ヨリ人民ニ對スル及對要求ヲ審判スル為メ
一ノ裁判所ヲ御同設け成ル方至便至要ノ良法ト存莫尤裁判廳
設立ノ起由原質ハ未タ詳ナラスハ得共去ル七年司法省第百二十四号布達
ノ趣ニテハ人民一個ノ事ニテラサル一般公同ノ為メ起ル訴訟ハ行政裁判
歸スルモノト有之ハ同人民一個ノ為メ起ル訴訟ヲ受理スル裁判廳ハ
請求裁判所ト被稱ル方可然已ニ外務及工部省ホ、御座ノ法學師
米人スミス英人デヒソン、尋同ノ上ニ裁判設立ノ方法立案セシメハ此別冊
ノ通リ取調差出ル得共其方法中 適用トシ難キ條件モ相見、ハ有猶

本文米人スミスハ外務省、
御座ノモノニ相違無ク是處

現今ノ世態ニ適否ヲ見止ル廉ク如除添削ニ更ニ案ノ草ニ御考有供
小本至急御詮議、上何公ノ御裁可有之度は殿及工申也